

3-7 授業情報技術講習会

本講習会は、教員の授業運営能力の向上を図るため、電子教材の作成、Webサイトの構築、ネットワークを利用した遠隔授業の運営などに求められる情報技術活用能力について、実際の授業事例を紹介しながら、対面およびインターネットを利用したeラーニング形式により学習すること目的に開催するものである。なお、講習会の企画・運営・実施は、授業情報技術講習会運営委員会（委員長：山本 喜一、慶應義塾大学）にて対応した。

(1) 開催要項の決定と実施準備

本年度は、より多くの教員が教材作成のための情報技術の講習を受けられるように、ネットワーク上でPowerPoint教材の作成方法が自学自習できるe講習をはじめることとした。

e講習では、①授業事例を参考に学習、②授業で実現したいイメージを選択して実習、③学習したい機能を選択して実習の3つの入り口を設け、受講者の関心や技術レベルに応じて適切な段階で学習できるよう配慮した。授業事例としては、錯視などの画像を組み込んだ心理学の教材、図表やリンクを含む経済学の教材などを取り上げ、映像による解説を参考にしながら、授業でのPowerPoint活用の実例に倣って学習することが可能となるよう工夫した。

対面形式の講習会では、基礎レベルではPowerPointの操作についてはe講習で学修していることを前提に、個別の問題や課題に対応するほか、Webを利用した教材提供の手法を講習することとした。

上級コースでは、映像素材を活用した教材の作成方法を主体に、Webを活用した授業アンケートや小テストの実施、著作権に関する解説など、より実際の授業を意識した講習内容とした。

いずれも気軽に教材作成に取り組めるようPowerPoint以外は、Windowsに標準添付されているソフトや無料でダウンロードできるソフトウェアを最大限に活用し、講習を行うこととした。

平成16年度授業情報技術講習会開催要項

日時：

【基礎コース(e講習)】

平成16年6月21日から平成17年3月31日まで
※ネットワークによる自学自習

【基礎コース(スクーリング)】平成16年8月23日(月)～25日(水)
【応用コース】平成16年8月26日(木)～28日(土)

会場：

【基礎コース(スクーリング)】 [東京会場]工学院大学
[大阪会場]大阪電気通信大学
【応用コース】 大阪電気通信大学

1. 目的

この講習会は、情報技術を活用した授業方法の紹介、電子教材の作成とWebサイトの構築、ネットワークを利用した遠隔授業の運営などに求められる情報技術活用能力の講習を通して、教員の授業運営能力の向上に資することを目的とします。

本年度より、大学における授業改善の積極化が一層促進されるよう、希望される多くの教員を対象に、授業運営のためのIT活用を支援するeラーニング形式の講習会(e講習)を新たに開催することにいたしました。

このe講習は、教材作成に関する基礎的な技術をネットワークを介して修得することを目標としており、授業事例、教材サンプルの提示と作成方法、ソフトウェアの機能別の操作技術について、操作画面のイメージに動画・音声を交えて解りやすく解説します。

2. 受講対象者

当協会加盟大学・短期大学の専任教員ならびに情報技術を使用して教育支援を行う専任職員の方で、受講にあたっては、以下の事項について理解されていることを前提とします。

<基礎コース> 授業にコンピュータの活用を考えている教員で、キーボード、マウスなどの操作技術、Windowsパソコンの起動、Webページの表示方法をあらかじめ修得している方を対象とします。

<応用コース> 既にコンピュータを用いた教材作成を実践している教員で、プレゼンテーションソフトやWebページ作成など一通りの操作方法を理解している方を対象とします。

3. 各コースの講習形式、講習内容

【基礎コース(e講習)】

所属大学あるいは自宅のコンピュータからインターネットで本協会のサーバに接続し、利用認証を経た上で、Webページに掲載する教材を参照しながら、PowerPoint(スライド形式の資料作成ソフト)による教材作成方法を自習します。

【基礎コース(スクーリング)】(8月23日～25日)

e講習による基礎知識・基本操作の修得を前提に、東京あるいは大阪の会場に集合の上、参加者一人一台のパソコンを用いて、e講習にはな

いテーマとしてWeb ページによる教材の作成方法について実習するとともにe講習では解決できない個々の問題解決や相談助言に対応します。

(1) Web ページ教材の作成実習

Web ページ作成ツールの基本操作、画像の取り込みと加工・編集、Web ページの作成、インターネット・イントラネットでの教材掲示と活用のポイントについて、実習により修得します。

(2) 教材作成技術の問題解決、相談助言

(3) ITを活用する授業運営のノウハウ

授業での効果的なプレゼンテーションの実施手法、教室の授業とeラーニングを結び付けた授業形式の可能性などを紹介し、IT を活用する授業の設計手法について理解を深めます。

2. 応用コース (8月26日~28日)

授業をよりダイナミックにするための比較的高度なIT 技術の修得を目指し、授業現場での活用事例の紹介と必要な技術・環境を解説するとともに、目的に応じた動画像の加工・編集とWebページへの掲載手順などを実習により修得します。

(1) 授業でのIT 活用事例の紹介

大学で実践されているマルチメディアを活用する授業を担当教員から紹介し、教員に必要な技術、大学に必要な環境と支援体制、課題と解決のための取り組み、将来構想などを解説します。

- ・学系別のIT 活用事例の紹介
- ・実現のための技術と環境について
- ・最新技術動向の紹介と今後の動向について

(2) 動画像・音声を取り込んだプレゼンテーションについて

動画像編集ツール、アニメーション作成ツールなどによる教材作成の基礎知識について、事例を踏まえて解説します。

- ・動画像編集ツール、アニメーション作成ツール等の基本操作
- ・動画像等を盛り込んだWeb ページ作成の基礎知識、インターネット・イントラネットでの教材掲示および活用の基本技術

(3) マルチメディア教材の作成とWeb ページへの展開

目的別のマルチメディア教材作成のための基本操作、自学自習も視野に入れたWeb 教材の作成技術を実習を中心に修得します。

- ・動画像加工・編集実習 (PC カメラによる撮影技術、素材データの加工・編集、アニメーション等の作成)
- ・Web 教材作成実習 (デザイン、動画像等の取り込み、効果を高める工夫)

(2) 開催結果と次年度への準備

参加者数は、基礎コースe-講習604名、基礎コーススクーリング64名(東京：41名、大阪：23名)、応用コース58名であった。

17年度は、多くの教員により高度な教材作成技術の学習機会を提供できるよう、今回応用コースで取り上げたビデオ編集ソフトの解説をe講習化することを予定している。対面講習では、基礎的な操作技術については、e講習等で習得済みであることを前提に、共通課題を設けて漏れがないよう確認したり、より発展的な内容を取り上げたりすることを予定している。また、実践的な授業でのWebの活用方法や授業運営技術など、ネットワークでは自学自習できない内容を対面で講習するよう、内容の見直しを行っている。以下に、e-講習サイトのイメージを掲載する。詳細は、資料編【資料12】を参照されたい。

授業情報技術e-講習サイト

- 授業事例を参考(PowerPoint実習)
- 教材・授業イメージを選択して実習
- 習得したい技術を選択して実習

授業事例を参考に学習

※はじめに(授業運営の留意点)

- PowerPointを版権教材に対応したため、著作権について：山本 喜
- 外部リンクも、ブラウザとして取付いたハイパーリンクで参照する
- 現代産業論：藤川 清史 氏
- 最新事例：金子 尚弘 氏(白)

授業事例を参考にPowerPoint学習 (基礎事例8)

● 確認その2

● 写真の挿入

このスライドは、遠くにあるものは小さく見えて、近くにあるものは大きく見えるという、日常経験できる視覚表現の一例である。

背景となる写真は、メニューの「挿入」⇒「図」⇒「ファイルから」で取り込める。自動でサイズになるよう、あるいは手動で指定するよう、サイズの変更を行う。PowerPoint上で写真の縮小はできないので、低解像度の写真を用意して、イメージを明確にした上で、写真を挿入することが重要である。

三線ボタンで「挿入」⇒「図」⇒「ファイルから」を選択する。

教材作成の狙いなどを解説し、スライドを使用する授業を映像・音声で再現する。

授業事例にあるスライドの作り方、必要な機能とコツなどを解説する。

個々の機能について操作画面の静止画・アニメーションにより説明する。

アニメーションの再生